

# 3月定例会

●会期 2月19日～3月20日（30日間）

## いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ対策強化

今回は  
市長提出議案 42件  
報告 3件  
請願 1件  
議員提出議案 3件



3月定例会議案採決

▼いじめにより、当該学校に在籍する児童などの生命、心身、または財産に、重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。  
▼いじめにより、当該学校に在籍する児童などが、相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

### いじめ重大事態に対応する条例制定

【議案第10号】八幡平市いじめ問題対策委員会条例

**支給の要件を緩和**

市内の特別養護老人ホームなどに空きがなく、やむを得ず市外の人に対しても長寿祝金を支給するため、満100歳に達する日まで継続して10年以上、八幡平市へ住民登録していることを新たな支給要件とし、現行の居住要件を廃し、改めるものです。

【議案第21号】八幡平市長寿祝金条例の一部を改正する条例

め防止などに関する機関・団体との連携を図るため、早期に「いじめ防止対策推進法第14条に基づく、いじめ問題対策連絡協議会を設置すべき」と考える」と意見集約され、最終日の本会議で委員長が審査結果を報告しました。

【賛成討論】 小野寺昭一議員（八起会）  
一般会計予算総額、220億3300万円は、前年度対比24億800万円の増、率で12・3%の大幅な伸びになっている。八幡平市誕生以来、最大の予算規模は、第2次総合計画、前期計画の中間年である平成30年に、並々ならぬ積極的な姿勢で、将来に

いる。人口減少は、市が策定した人口の将来推移目標とかけて離れて推移しており、その対策が強く求められている。若者の定住化対策や、さらなる子育て世代への支援がまつたなしの課題である。また、市民の要望が強い、市道の整備や、軽舗装への予算も重要な事業は進めなければならないが、見直しが必要な事業は見直すべきである。これら大型公共事業への投資は、最大の課題の人口減少への対策を遅らせ公共事業が同時進行の予算である。市民にとって必要な事業は進めなければならないが、見直しが必要な事業は見直すべきである。これら大型公共事業への投資は、最大の課題の人口減少への対策を遅らせ

ている。人口減少は、市が策定した人口の将来推移目標とかけて離れて推移しており、その対策が強く求められている。若者の定住化対策や、さらなる子育て世代への支援がまつたなしの課題である。また、市民の要望が強い、市道の整備や、軽舗装への予算も重要な事業は進めなければならないが、見直しが必要な事業は見直すべきである。これらへの予算配分を求める。教育費では、「J飯持参の学校給食の問題である。学校給食法の趣旨に沿わない、この補足給食を改め、負担増なしの完全給食を強く求めるとともに、学校給食の無料化を目指すべきである。

課題を先送りせず、八幡平市の活性化を図り、市の将来像である「農と輝かしい大地」の実現に向けた、意欲的な予算編成を高く評価する。多様な住民福祉施策が盛り込まれており、市民の付託に応えるものと高く評価し、賛成討論とする。



平昌オリンピック応援団  
スポーツ大会出場選手報奨金

【予算額】150万円

【事業内容】オリンピック・パラリンピック競技大会に選手として出場した個人に対し、報奨金を交付する。



県立平館高校

平館高校教育振興会補助金

【予算額】427万円

【事業内容】進路指導事業（夏季休業中に国立大学進学者に対し、予備校講師による特別課外授業を実施）



中渡工場適地整備事業

【予算額】4,675万円

【事業内容】用地取得および整備を行う。（平成30年度・平成31年度：2カ年事業）

【付託された委員会の審査結果】  
教育民生常任委員会での審査では、いじめ事前防止や、いじめ相談体制の整備が必要であり、いじ

## 2億3791万円 減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ2億3791万円を減額するもので、主な歳出は次のとおりです。

▼私有財産整備基金積立金 3億
2875万6千円
▼なかやま温泉館管理運営事業
1211万6千円 (減額)
▼西根病院事業会計 747万1千円
▼担い手育成支援事業 9205万7千円 (減額)
▼訪日外国人誘客促進事業委託料 2千万円
▼スクールバス運行事業 150万3千円 (減額)
▼体育施設維持管理事業 333万2千円 (減額)
▼公共下水道特別会計繰出金 3356万7千円 (減額)

A Q 今この時期の減額補正是、必要性がないのではないか。常に議会には、最新の状況を知らせ、議論してもらう

ことが執行部の役割と認識している。

A Q 大更駅の自由通路の愛称募集をしないのか。

自由通路ということで、あえて名称を付けないことを協議し、今回は募集しなかつた。

Q 適応支援相談員、みのりサポート推進員の、予算や人材の補正を分かった時点で、議会審議するのが適正であると思うが。

A Q 自由通路ということで、議会審議するのが適正であると思うが。相談員、推進員などは、小学校、中学校対応ということで、その増減は報酬の中で調整し、実務は対応している。

Q 5158万円を除雪に増額補正

A Q 今この時期に、除雪予算の増額理由と積算根拠は。2月の積雪により予算不足となり、過去5年間の実績より積算したものである。

## 議員政治倫理のさらなる向上を図る

【発議案第1号】八幡平市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例

議員の政治倫理向上を目的的に、議員や配偶者、2親等の親族、同居の親族が役員をしている法人などは、市や市が関係する団体などの契約を辞退しなければならないと定めるものです。

A Q より高い政治倫理を作り上げる必要があるためである。

### 討論(発議案第1号)

【反対討論】立花安文議員(八起会)

一つは、市との契約に当たって、2親等である議員の兄弟まで規制の範囲を拡大する理由が理解できない。もう一つは、「市が関係する団体」は、該当する団体名を明示する必要がある。私の地区には、4人の林業事業者がいる。関係する団体に森林組合が含まれれば、森林組合からの業務を受託できなくなる。2親等まで網をかけることは、地区内の議員のなり手に影響を及ぼす。以上のことが、条例改正に反対する。

## 第1回臨時会

会期  
4月16日  
(1日間)

## 政治倫理が一軒否決

周知期間が十分でないことや議会内で一層の検討が必要など、6点の異議があり再議としたもので、採決の結果、否決となりました。

【再議】=地方自治法176条で、首長は議会が可決した議案に異議があれば10日以内に審議のやり直しを求めることができる。再議後、同じ議案を可決させるためには出席議員の3分の2以上の賛成が必要となり、再議前の過半数よりもハードルが高くなる。

### 平成30年第1回臨時会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)	議決結果																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案第1号	平成30年八幡平市議会第1回定例会で議決された発議案第1号 八幡平市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の再議について	工藤隆一 八起会	田村善男 八起会	島山康八 八起会	井上辰男 八起会	立花安文 八起会	大森力男 市民クラブ	井藤剛 市民クラブ	欠番	遠藤公雄 (自由クラブ)	小野寺昭一 (日本共産党)	田村孝 (新政クラブ)	山本一彦 (日本共産党)	高橋義光 (市民クラブ)	伊藤善次郎 (自由クラブ)	高橋和男 無会派	大和田順一 (日本共産党)	渡辺守 八起会	古川津好 (市民クラブ)	米田定男 (日本共産党)	北口和男 無会派	高橋光幸 (市民クラブ)	渡辺義光 (市民クラブ)

※賛成=○、反対=●

さきの議決のとおり決定することは否決(今回は、出席議員のうち、3分の2である14人以上の賛成が必要です。)

### 平成30年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)	議決結果																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案第17号	八幡平市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
議案第32号	平成30年度八幡平市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
発議案第1号	八幡平市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○

※賛成=○、反対=● 古川津好議長は採決に加わりません

## 質問した事項

1 田村 善男 議員 ..... P 8

- ・人事評価について
- ・6次産業化の取り組みについて
- ・認知症について
- ・不登校について

2 大森 力男 議員 ..... P 9

- ・平成30年度一般会計予算などについて
- ・インバウンド観光の岩手圏・八幡平地域の可能性について
- ・交通事故の抑止対策について
- ・市道鴨志田線外整備事業について

3 米田 定男 議員 ..... P 10

- ・人口減少問題について

4 関 善次郎 議員 ..... P 10

- ・スポーツ振興について
- ・公共施設と車道整備について
- ・交通機関について
- ・地熱発電について

5 大和田順一 議員 ..... P 11

- ・予算執行にかかる就労体制の取り組みについて
- ・米政策の取り組みについて
- ・ふるさと納税について
- ・関係人口創出事業について
- ・市の魅力発進の取り組みについて
- ・田山スキー場の距離競技施設の整備について
- ・防災対策について

6 工藤 隆一 議員 ..... P 12

- ・農（みのり）について
- ・スポーツ合宿などについて
- ・教職員の働き方について
- ・八幡平温泉館森乃湯について

7 北口 和男 議員 ..... P 12

- ・観光振興について
- ・環境保全対策について

8 山本 榮 議員 ..... P 13

- ・若者が定住できるまちづくりについて
- ・パークゴルフ場を田山スキー場に整備することについて

9 高橋 悅郎 議員 ..... P 14

- ・介護保険について
- ・国保の広域化について

問 大型事業が計画され、平成30年度以降の一般会計当初予算規模の見通しは。

市長 平成30年度は過去最大の220億3千万円規模となり、清掃センター改良工事や国保西根病院の移転新築工事など、施設整備が主なものである。平成31年

問 平成30年度のハードの評価結果の処遇反映

問 平成30年度のハードの評価結果の処遇反映

問 インバウンド観光に係る戦略や計画は。

問 海外旅行者の動向

問 新規事業は何か。

市長 松野・寄木保育所統合新築工事や牛の繁殖・育成センター建設、中渡工場適地整備の3事業となる。

問 海外の旅行者がもたらす地域経済の将来性は。

市長 平成32年度には地域経済効果は、およそ30億円と見込んでいる。



(市民クラブ)  
おおもり りきお  
**大森力男** 議員

## 予算3年間200億円台 大型事業予算編成の動向



新築された大更駅舎と自由通路

市道鴨志田線整備

問 工事の変更した場所は。

市長 安比川の越水被害を防ぐため、安比川沿いのルートを変更し、嵩上げを行い、護岸を兼ねた道路とする。

問 行政を推進するために、機能的な執行体制の確立、政策形成能力と創造性を備えた職員の育成が求められている。そのため人事評価を活用し、処遇に反映と人材育成を進めるべきと思うが、考え方伺う。

市長 評価結果の処遇反映

問 認知症患者の対応

市長 市認知症高齢者等見守り推進事業費補助金交付要綱を定めた。GPS機能端末機購入に対し、1万8

問 認知症の人は年々増加しており、その安全確保や介護者の負担軽減を、どのように対応していくのか伺う。

市長 市認知症高齢者等見守り推進事業費補助金交付要綱を定めた。GPS機能端末機購入に対し、1万8

問 不登校の実態

市長 平DMOを設立し、ツアーパッケージを設置し、不登校児童生徒の居場所をつくり、学級と連携しながら、適切な相談支援および指導を行い、児童生徒の学校復帰を図っている。

問 市内、中学校の不登校の実態と支援について伺う。

教育長 適応指導教室ワーキングを設置し、不登校児童生徒の居場所をつくり、学級と連携しながら、適切な相談支援および指導を行い、児童生徒の学校復帰を図っている。



(八起会)  
たむら よしお  
**田村善男** 議員

## 人事評価で人材育成



市民のために努力する市職員

問 公平性と納得性の確保

市長 今年、株式会社八幡平DMOを設立し、ツアーパッケージを設置し、不登校児童生徒の居場所をつくり、学級と連携しながら、適切な相談支援および指導を行い、児童生徒の学校復帰を図っている。

問 市内、中学校の不登校の実態と支援について伺う。

教育長 適応指導教室ワーキングを設置し、不登校児童生徒の居場所をつくり、学級と連携しながら、適切な相談支援および指導を行い、児童生徒の学校復帰を図っている。

問 市内、中学校の不登校の実態と支援について伺う。

教育長 適応指導教室ワーキングを設置し、不登校児童生徒の居場所をつくり、学級と連携しながら、適切な相談支援および指導を行い、児童生徒の学校復帰を図っている。

問 ふるさと納税による自  
主財源確保と、産業振興の  
取り組みの総括を伺う。

**市長** 昨年6月より開始し  
た実績は、平成30年1月末  
で寄附件数3780件、寄  
附額1億4014万円となり、  
返礼品の経費を差し引き、約3割を基金に積み立  
き、

て、翌年度の地方創成事業  
などに充当するなど自主財  
源確保になった。また、4  
千万円が市内業者や農家の  
収入増となり、さらに事務  
代行業者では6名の新規雇  
用が生まれ、返礼品の梱包  
作業などに障がい者の就業  
機会を創出しており、全国

**米政策の方針、**  
**数量配分時期は**



(新政クラブ)  
おおわだ じゅんいち  
**大和田順一** 議員

## ふるさと納税の総括

### 目標達成は、大きな成果



田山スキー場の  
整備計画は

返礼品の梱包、配送作業風景

問 矢神住宅は老朽化のため1棟を撤去した後に、新住宅の建設予定であったが、今後の計画は。

**市長** 新たな建て替えは、平成33年度からの次期長寿命化計画の見直しにおいて検討していく。

建設課長 通常の修繕とか水道などのライフライン、建具の不備などについては、市が直接修繕している。また、安代地区については土

木林業課で対応している。  
問 矢神住宅の不備については、後で具体的な説明を受け、対応してもらう。

### 交通の利便性

市長 バス停設置について高速バス停留所の設置をバス運行会社に打診しては。向上的ため、前森および畠パーキングのどちらかに、

問 市内外の方々が利用している田山スポーツ交流館が分かりづらいため、案内標識を設置すべきである。市長 市外から訪れる方々に分かるよう表示したい。

### 公共施設に 案内標識を



(自由クラブ)  
せき ぜんじろう  
**関善次郎** 議員

## 矢神住宅新築計画

### 次期長寿命化計画で検討



隙間風や雪が入る矢神住宅

問 人口減少対策として、子育て支援策の抜本的強化こそ、最も重視すべき政策である。

**市長** 子育て支援を、全面的に財政負担しながら行うことは、他の分野にしわ寄せが及ぶことになる。他の分野とバランスを取りながら

学校給食費、18歳までの医療費無料化などの支援策を実施している。こういう例は、まだ全国的には数少ないといえるが、人口減少が続く中で、こういう抜本的

策というものは進める必要がある。全国の公立小学校では99・2%で、実施していない校数は1万9300校中わずか100校、その中に八幡城県大字町では、保育料、

副市長 全方位的な形で施設というものは進める必要がある。教育総務課長 全国的に、県内的にこうだからと、方向転換を図るのはいかがなも

かと思うている。教育総務課長 全国的に、県内的にこうだからと、方向転換を図るのはいかがなもまさに給食否定論でしかない。引き続き、この問題を追及していかざるを得ない。



(日本共産党)  
まいだ さだお  
**米田定男** 議員

## 他とバランスを取つて



元気に遊ぶ子どもたち

問 安代地区は人口減少が著しく過疎化が進行し、このままでは地域を守ることができなくなる。人口減少歯止め対策は急務である。

私は、子育て支援、若者定住促進住宅を整備して、若者の定住を図ることを提案してきた。市が計画検討し

市長 30年度に、リンドウの生産活動を担う隊員を募集している。林業の後継者

問 正式に大会が開催でき担当する係が必要である。

田山スキー場にパークゴルフ場を

対策として、林業新規就農者対策事業の支援を行い、

定住化を図りたい。定住促進は、企画財政課地域戦略係が担当する。



やまもと  
山本 榮 議員  
(日本共産党)



田山スキー場・スキーセンター

## 安代地区の定住促進事業

リンドウ生産に協力隊員

道の駅にしねの駐車場を拡大して数年経過するが、観光バスが駐車し、乗客の乗降を見たことがないと聞く。観光バスが駐車できるように、さらに駐車場を広げが必要があると思うが。

市長 平成28年に駐車場およびトイレを改修し、駐車

台数が68台分から108台分と大幅に増え、大型車両は5台分が確保されており、当面は現状での利用をお願いする。

問 兄川グリーンラインに看板設置を

市長 八幡平市内の大自然、

牧歌的風景、自然エネルギーや各温泉地めぐり体験など、癒やしが楽しめる観光道路が6ラインある。兄川グリーンラインには、道路名称の看板が設置されないが、看板設置が必要と思うが。

周辺の悪臭について、状況と今後の対策を伺う。

市長 岩手山サービスエリアを訪問し、聞き取り調査および臭覚を感じた場合のチェック表による調査依頼を行っている。結果として、原因特定には至らず、今後も原因特定に努めていく。

問 生産者の飼料コストの軽減と、早期授精による回転率の向上により、生産性を高め、増頭化を図るために、キャトルセンターが必要と思うが、考えを伺う。

市長 繁殖、育成センターは、労働力の軽減が図られ、コストを抑え規模拡大が可

きたぐち かずお  
北口和男 議員  
(無会派)

## 観光バス駐車場の拡大

当面は現状のままで活用



道の駅にしねの駐車場状況

に事業実施計画を策定し、31年度には畜産公共事業の採択申請を行う予定である。

能なことがメリットである。畜産振興のために、大変重要な施設である。30年度に事業実施計画を策定し、31年度には畜産公共事業の採択申請を行う予定である。

市長 今年も、パナソニックワイルドナイツや玉川大学硬式野球部から高評価を得ているが、

今後の展望を伺う。

市長 今年も、パナソニックワイルドナイツが合宿に向けた日程調整を行っている。他には、クボタ、栗田工業の強豪チームや釜石

に集中できるよう環境整備をすべきと思うが、考えを伺う。

問 パナソニックワイルドナイツや玉川大学硬式野球部も合宿の予定である。

教職員の働き方

市長 今年も、パナソニックワイルドナイツが合宿に向けた日程調整を行っている。他には、クボタ、栗田工業の強豪チームや釜石

に集中できるよう環境整備をすべきと思うが、考えを伺う。



くどうりゅういち  
工藤隆一 議員  
(八起会)



長沢牛舎

## 30年度事業実施計画策定

シーウェイブスの合宿、玉川大学硬式野球部も合宿の予定である。

問 教員には、教えること

教育長 部活動において、外部指導者の導入が図られるよう市体協と連携を図り、

部活動指導への体制づくりが必要と考えている。また、ICTの活用にて、統合型校務支援システムの導入による業務の効率化が期待できる。

## キャトルセンターの設置



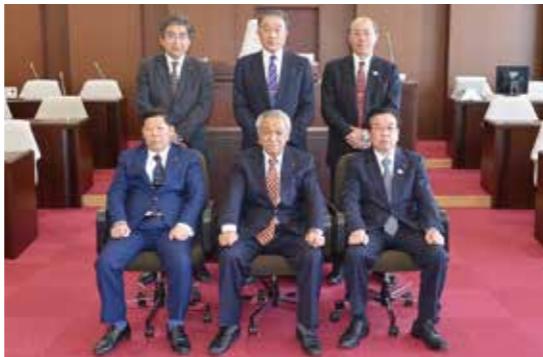
長沢牛舎

## 議会広聴広報常任委員会

## 《委員長退任のあいさつ》

議会広聴広報常任委員会で広報担当委員として議会広報を発行し、ギカイのひろばを通して、皆さんへ議会状況を伝えると共に、市民の声に耳を傾けながら、委員6人が一丸となり協力と努力により発行することができました。今回の議員改選により、任務を退任することになりますので、お世話になりましたことを心から感謝し、お礼申し上げまして、あいさつとします。

議会広聴広報常任委員会 委員長 関善次郎



議会広聴広報常任委員会委員

## 次は 6月定例会(予定)

期日	内容
6月14日(木)	議案上程 ほか
6月15日(金)	一般質問
6月16日(土)・17日(日)	休会
6月18日(月)・19日(火)	一般質問
6月20日(水)	休会(常任委員会)
6月21日(木)	議案審議
6月22日(金)～24日(日)	休会
6月25日(月)	委員長報告 ほか

\*午前10時開会(変更の場合あります)

## 議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください(受付で住所や氏名を記入する必要はありません)。

## 議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(Youtubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

## ク イ ズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう?

長寿祝金の新支給要件  
は満100歳に達する  
日まで継続して〇〇年  
以上住民登録している

■応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券500円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。

\*お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。

■あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより係  
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp

■しめ切り 平成30年6月5日(火)(当日消印有効)

■前回(No50)の正解 2(台)  
応募者 20人 正解者 20人

## 議会の動き

(2月7日～4月16日)

- 2月  
▶ 7日 議会広聴広報常任委員会協議会視察研修
- ▶ 8日 平成29年度盛岡市市政調査会定期研修会
- ▶ 13日 会派代表者会議、議会運営委員会、議会改革推進会議
- ▶ 14日 北海道滝川市議会会派視察来庁
- ▶ 15日 日本共産党会派研修(～16日)
- ▶ 19日 平成30年第1回定例会(～3月20日)、議員全員協議会、議会広聴広報常任委員会、平成30年2月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会ならびに全員協議会
- ▶ 20日 盛岡地区広域消防組合議会全員協議会ならびに平成30年2月盛岡地区広域消防組合議会定例会
- ▶ 23日 平成30年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会
- ▶ 26日 総務常任委員会  
3月  
▶ 1日 議会改革推進会議、会派代表者会議、教育民生常任委員会
- ▶ 6日 議員全員協議会、会派視察研修報告会、総務常任委員会
- ▶ 7日 議会運営委員会
- ▶ 8日 予算特別委員会、市政調査会理事会
- ▶ 12日 予算特別委員会
- ▶ 13日 予算特別委員会、議会運営委員会
- ▶ 15日 予算特別委員会
- ▶ 16日 予算特別委員会、市政調査会理事会
- ▶ 20日 議員全員協議会、市政調査会臨時総会
- ▶ 29日 議会広聴広報常任委員会  
4月  
▶ 9日 議会運営委員会  
▶ 16日 平成30年第1回臨時会

65歳以上の介護保険料は、年金から天引きされるが「保険料が高くて大変だ」という声が多い。新年度から、月379円引き上げ、平均で6126円になると、健康福祉課長今回、アンケート調査を行った。「保

険料が高くなることを望まない」が、43%と一番多い回答であった。しかし、今後高齢者が増えていくので、引き上げはやむを得ない。問 保険料引き上げを抑えるために、介護保険の基金は全て活用するべきと、会計検査院の指導があるが、

市長 基金を残すのは、間違いと言っているのではなくと承知している。次の計画で、保険料の引き上げを抑えることに使いたい。

問 会社員が入っている社均第3子から国保税を免除するため、第3子から等割り額が増え、引き上がる。当市の場合は、子どもが増えると年に2万7千円引き上がる。この不公平を解消し、国保加入者の子育て世代を支援するため、子どもが増えると年にもう少し負担が減る。しかし、国保税の場合

市長 そういううまい手法があるのを、初めて聞いた。今後の、子育て支援の一つ大きな参考になるのではないか。財政とも相談しながら検討していきたい。



たかはしぇつろう  
高橋悦郎 議員

(日本共産党)

## 基金活用し引き上げ抑制



大更中心部にある、デイサービス